



みずどう

確かな学力、豊かな心、健やかな身体のバランスのとれた子どもの育成をめざす

令和7年2月号
尼崎市立水堂小学校
尼崎市立水堂町1丁目32-8
TEL(06)6437-3804
<https://www.ama-net.ed.jp/school/E30/index.html>

心身を鍛え

2025年も1か月が過ぎました。寒い日が続いていますが、学校では寒さを吹き飛ばすような子どもたちの元気な声が聞こえています。

1月にコミュニティスクールの活動として、1年生の生活科で昔遊び体験（けん玉、コマ、お手玉、メンコ、竹とんぼ）をする予定でした。残念ながら1年生がインフルエンザのため学年閉鎖となり実施できませんでした。後日、延期という形で実施したいと考えています。ご支援くださる予定でした地域の皆様には急な変更で申し訳ありませんでした。後日実施する折には、どうぞよろしく願いいたします。

今回実施した昔遊びですが、子どもの成長という面でもよいものだと言えます。けん玉などはバランス感覚が必要です。メンコも思いっきり腕を振り下ろさないと、中々ひっくりかえりません。遊びながらも体の色々なところを使うので、続けると遊びながら身体を育むことができます。また、体を動かすことは脳の活性化にもつながります。

本校のめざす子ども像に「心身を鍛え」とあります。内容は「豊かな心と健やかな身体を持ち、自尊心のある子」の育成を目指すというものです。健やかな身体を持つに関して、普段の生活に目を向けると「歯」が大人も子どもも健やかな身体と関係していると言われています。子どもたちには、毎日お家で進んで歯磨きをしてほしいものです。歯磨きに関して、アメリカの心理学者がある実験をしています。歯磨きをしないとどうなるのかという警告を、弱（歯磨きをしないと虫歯になる）、中（歯磨きをしないと虫歯になり口内がただれ歯茎の炎症にもなる）、強（歯磨きをしないと歯茎が病気になり苦痛を伴う治療、別の大きな病気になる）の3段階で伝え、その後、どのグループが歯磨きを継続していたかを調べました。結果は弱のグループが歯磨きを継続したそうです。強のグループは初めは怖くなり歯磨きをしていましたが、そのうちしなくなったそうです。弱のグループは自分の意志で歯磨きをするようになったそうです。何かをするときは強制ではなく、自分で意思決定をした方が続くようです。続けていくと成功体験が積みれ、自尊心を高めることにもつながります。成功体験は子どもの成長に大切なものです。今後とも地域と協力しながら教育活動を進めて参ります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

【2月 行事予定】



日	曜日	項 目
1	土	
2	日	
3	月	朝会 委員会活動 KDDI スマホ・ケータイ安全教室出前授業 (2校時1年生、3校時3年生)
4	火	入学説明会 (10時30分～)
5	水	
6	木	
7	金	6年地区バスケットボール大会
8	土	
9	日	
10	月	クラブ活動 (3年クラブ見学)
11	火	建国記念の日
12	水	6年薬物乱用防止教育 (5校時)
13	木	

14	金	
15	土	
16	日	
17	月	委員会紹介 (8時25分～) クラブ・委員会活動反省
18	火	
19	水	高学年参観 (5校時)・懇談 (6校時)
20	木	児童会役員選挙 (5校時・体育館)
21	金	低学年参観 (5校時) 懇談 (6校時)
22	土	
23	日	天皇誕生日
24	月	振替休日
25	火	ノート検定週間
26	水	6年卒業遠足
27	木	6年生を送る会 (8時30分～9時30分)
28	金	漢字検定試験

3月の主な行事予定

3月17日 (月) 給食終了 19日 (水) 卒業証書授与式 25日 (火) 修了式



～職員より～

「勉強なさい。」

親ならばわが子の学力を上げるために、ついつい言ってしまう言葉です。私にも息子が二人いて、この言葉を言ってしまったこともあります。この時の学力とは、学力調査やIQテストで数値化することのできる学力（認知能力）を指すことが多いと思われます。しかし、忍耐力や自尊心、やる気、思いやり、コミュニケーション力など数値化することのできない内面的なスキル（非認知能力）も、子どもたちに育てたい大切な能力です。

先日、『科学的根拠（エビデンス）で子育て』（中室牧子著・ダイヤモンド社・2024年）という本を読みました。この本はタイトルのとおり、データに基づいた、効果のある子育ての方策を提案した本です。この本に気になる記述がありました。

「幼少期に身に付けた非認知能力は、その後の認知能力を伸ばすのに役立ちますが、その逆（幼少期の認知能力→その後の非認知能力）は観察されない」

つまり、10代前半までに忍耐力や自尊心などの非認知能力が身に付けば、将来、それらが認知能力（学力）の向上につながるということです。「勉強なさい。」ではない、わが子の頑張りを認める言葉かけや自信を持たせる言葉かけが、将来の子どもたちのためになることを改めて感じました。豊かな心をもった子どもたちを育成するために、学校においても引き続き職員一丸となって力を尽くしていきます。

(教頭)